

## 入学式式辞 2018.4.7

近江兄弟社高等学校 校長 藤澤俊樹

学園前の桜は、残念ながら今日の日を待ちきれなかったようです。私も待ちくたびれましたが、恵みの雨も降りましたが、すべてのものが命の息吹に溢れるこの良き日に、ようやく入学式を迎えました。まずは、ご多忙の中、押してご臨席賜りました来賓の皆様にご挨拶申し上げます。有難うございます。



ただ今、入学を許可いたしました381名の新入生の皆さん、入学おめでとう。心から皆さんを歓迎します。新入生オリエンテーションで、私は皆さんに「選択が正解だったかどうかより、選択を正解にすることが大事である」と話しました。近江兄弟社高校を選択してくれた皆さん全員が、3年後、「選択を正解にした」と言い切って卒業して欲しいと強く願っています。そこで今日は、そのためには何が必要なのかについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。



高校は学ぶところです。義務教育を終えて、引き続き高校で学ぶという決断をしたこの機会に、学ぶ目的をしっかりと考え、意識することが大切です。「学ぶ目的」とは何か。それは人によって色々あっていいでしょう。でも誰も否定できない模範解答は「幸せになるため」です。学ぶ目的が「幸せになるため」なのだということを、これから本校での学びをスタートする皆さんには是非、頭に置いて欲しいと思います。

さて、それでは次に「幸せ」になるための秘訣・コツを二つお教えします。こんなことを言うと、会場にいる在校生や同僚教員からは、「偉そうなことを言う前に、校長自身が幸せになれよ」と言われそうです。いつも学生時代の失恋の話や家族の愚痴ばかり話しているので当然です。教員というのは少し自分のことは棚に上げないと務まらない仕事のようなので。生徒諸君が先生に反感を持つのは、ほぼほぼこの点に拠るように思いますが、お許し願って話を続けさせてもらいます。

幸せになる秘訣、まず一つ目は、あまり過去のことや未来のことを考え過ぎず、「今」を懸命に生きるということです。私は歴史の教師ですから、「過去に目を閉ざしてはならない」ことは知っています。また「青年は未来に生きる」のですから、未来を見つめることを否定することは教育を否定することです。しかし敢えて言います。一番大切なのは「今」です。過去はどんなに努力しても変えられません。未来は状況がどう変わるかわかりません。やはり「今」できることをやるのが大切です。言い換えれば、高校3年間、1000日をどう頑張るかが大事ということです。

先月末、本校吹奏楽部の定期演奏会があり、私も聴きに行きました。大勢で創るバンドの素晴らしさに感動し、何より吹奏楽部員の皆さんの輝いている姿をまぶしく見させていただきました。そして思いました。吹奏楽部員の高校3年間には、厳しい練習に負けそうになる時もあるだろうし、勉強との両立にも悩むでしょう。仲間とけんかすることもあるかもしれない。しかしこの活動は必ず一生の財産になるし、彼ら彼女らは必ず幸せになると。

写真の世界の言葉に、「マジックアワー」という言葉があります。日没後の影がなくなり被写体が最も輝いて美しく撮れる時間のことです。私は高校時代というのは人生の「マジックアワー」だと思うのです。この「マジックアワー」を精一杯、輝かせ、幸せな高校生活を過ごすことは必ず人生の幸せにも通じるはずで、本校で輝くチャンスはクラブ活動以外でも色々あります。学園祭で中心となった生徒会執行部の皆さんや団活動をリードした3年生は卒業して大学等でも大いに活躍しています。また海外研修旅行で世界に目が開かれ、国際的に活躍している先輩も多くいます。

幸せになる秘訣、二つ目は「誰かのために」とか「仲間のために」という視点を持つことです。たとえ金持ちになっても、出世しても、自分のことだけ考えている間は、なかなか幸せにはなれないようです。私は、この「誰かのために」とか「仲間のために」という視点のことを「こころざし」と呼んでいます。「こころざし」とは、所謂「将来の夢」とは少し違います。夢はかなわないことがあります。変わることもあります。



逆に「こころざし」とは一生変えない、一生貫く「人生の目標」です。そんな「人生の目標」を、ぜひ本校での3年間で見つけて欲しいのです。 新入生の皆さん。近江兄弟社高校の学校目標は「ヴォーリズの生き方に学び、『地の塩・世の光』たる自分を自覚し、育んだ志に向かって一歩踏み出す」です。皆さんにとって、この学校目標を達成することが、すなわち、本校を選んでいただいた「選択」を「正解」にするということです。ぜひ3年後、この会場での卒業式で、皆さん全員が「育んだこころざし」を胸に抱き、カー杯、「よーし」と、「一歩踏み出す」決意をしている、そんな卒業式を今から楽しみにしています。



最後に保護者の皆さん。改めまして御子たちの御入学、おめでとうございます。近江兄弟社高校は私学です。私学というのは、ここに集う、生徒・保護者・教職員・地域の方々、みんなで創る「みんなの学校」です。そのみんなが教育や学校を創るパートナーだという視点が失われていることが、わが国の教育をダメにしていると思います。学校・教員が教育を提供し、生徒・保護者がそれを選び、受けるといった一方的な教育観は間違いです。近江兄弟社高校は、生徒・保護者・

教職員が地域の支援を受けて、力を合わせて創る学校、「教育共同体」です。私たち教職員は、まだまだ力は足りませんが、生徒諸君がそれぞれの選択を正解にし、大きな花を咲かせてくれるよう、粘り強く指導し、精一杯応援することをお約束します。保護者の皆様のパートナーとしてのご支援・ご協力を心から願います。それでは、いよいよ近江兄弟社高校の2018年度の、力をあわせての「みんなの学校づくり」・教育のスタートです。どうぞ宜しくお願いします。以上、式辞とします。